

## 話し合いシート

---

討議会において参加者の皆さんに書いて頂いた付箋やまとめ、投票結果をまとめたものを添付します。記入者の意図したところ、ニュアンスをそのまま感じられるように、基本的には記入されたままで再現してあります。

# 討議テーマ1

A グループ	櫻井	永江	狩山	吉田	日下部	幅
<p>討議テーマ： 高齢者の社会参加をより一層促すために必要なものは？</p>						
<p>現状 女性より男性の方が社会参加が少ないのでは？          女性より男性の方が参加意識が少ない 足りない          嫁に気を使って思う行動が出来ない          近所の独居者でも声をかけにくい          お金が無いと心配して社会参加に躊躇する          どうしたら良いか          コミュニケーションの場をつくる          定期的に交流の場を提供する          参加のきっかけをつくる          具体的には          収入の安定や社会貢献で得る満足度や人との接点を作ってあげる 仕事          まず所属している人が周りの人（住んでいる地域で）をできる範囲で誘う            現役時代に身に付けた仕事が活かせる場 ※保育園、小学校の授業          学校に講師 として高齢者を招く          働き場所          (高齢者の)健康 → 定期検診 これが社会参加のきっかけにならないか          65歳以上の男性は強制的に集める</p>						
<p>まとめ1欄</p> <p>男性の参加率が低い          近所の独居者に声をかけにくい          お金の心配で参加しにくいかも          嫁に気遣って思う行動ができにくい</p>	<p>投票</p> <p>●</p> <p>1</p>					
<p>まとめ2欄</p> <p>収入の安定と社会貢献で得る満足度をつくる 仕事          コミュニケーションの場をつくる            参加のきっかけをつくる          定期的に交流の場をつくる          特技を活かせる場をつくる</p>	<p>投票</p> <p>●●●●●●●●</p> <p>7</p>					
<p>まとめ3欄</p> <p>学校等の場で講師などとして活動する          定期健康診断に出席させる          働き場所          現役時代に身に付けた仕事を活かせる場を</p>	<p>投票</p> <p>●●●</p> <p>3</p>					
<p>残したい意見</p> <p>65歳以上の男性は強制的に集める          女性より男性の参加率が低いことや、参加する意欲がなか          なか出せない          男性の特性により強制 引っ込み思案の方には嬉しいかも</p>	<p>投票</p> <p>●●●●●●●●</p> <p>8</p>					

B グループ	内藤 宮本 牧野 松本 高津 長江
<b>討議テーマ</b>	高齢者の社会参加をより一層促すために必要なものは？
<p>             ききょうバスのルート再考              駅中心へ向かうバス増やす              中心部と住宅地を結ぶ交通手段の確保              住宅地によってタクシーの補助券を出す                可能なら自宅前まで来てくれる交通手段              ききょうバスの増便              タクシー利用時の補助                家の前での送迎 出歩くことを促す              ききょうバス等に高齢者無料バス                社会貢献することをポイント制にする → イベント参加1ポイント → 移動手段をフリー → たまったものを市で使える（ながせetc）              ボランティアと報酬のバランス 無償はダメ 講座の確率              保育や家事の補助をポイントによって報酬として支払い、ポイントをバス代や買い物などに使える              ポイントや地域マネーでボランティアを参加を促す              ボランティアの一部として少しでもいいからペイメントする           </p> <div data-bbox="193 779 847 1041" data-label="Diagram"> </div> <p>             参加する事によってポイントを貯められて、引き換え可能な制度              地域マネーを使用可能にすること              シルバーポイント制度を作り社会参加、対価とする                町内会の充実により、地域との交流の場が増える              何か良いことがある町にしたい              周りとの関わり作りになるようにきっかけ作り              町内活動を充実させる              子どもが病気になった時に頼める場所を                引き継ぎを（市役所職員による）しっかりと行う           </p>	
<b>まとめ1欄</b> ききょうバスの路線の見直しによる、交通手段の確保と無料化やタクシー利用時の補助券	投票  11
<b>まとめ2欄</b> 社会参加に対するポイント加算制度の導入（イベント参加やボランティア等）ポイントは、地域マネーとしての活用ができるという	投票  14
<b>まとめ3欄</b> 各地域の町内会活動の充実化（新規イベント）	投票  2
<b>残したい意見</b> 市役所職員の異動による活動内容の引き継ぎを確実に。（担当変更後の説明が重複している）	投票  4

<b>C</b>	グループ	星野	永田	武藤	葭田	栗田	竹下
討議テーマ	高齢者の社会参加をより一層促すために必要なものは？						
あつまれる場所、公民館はあるが行事があるときしか鍵が開かない、真夏も真冬も公園などでお年寄りがみえる車がないと図書館やホームにいけない＝趣味や楽しみがみつげづらい コミュニティカフェ、コーヒーチケット配布							
市からの情報提供をもっとわかりやすく。市からの補助があることを知らない人も多い。自分から調べないといけない。市や企業でシルバー人材活用の機会を増やす。できる事、できる時間、ボランティアでなく低賃金でも可 おとしより向けのタウンワークみたいな情報誌 市の情報提供、おりべ、テレビ、インターネットホームページ、携帯メール会員などでビジュアル化した情報わかりやすく興味深い内容を提供する 社会参加を促す為には、現在存在する町内会の組織を利用し、広く参加をあおる							
道の駅がない 1人暮らし高齢者の方の意見は市の方に話しを聞いていただきたい。1ヶ月1回ぐらいはどうですか お年寄りの話し相手、相談相手になっていただく方、市の福祉課のサポートしていただける高齢者の活用							
<u>まとめ1欄</u> 気軽にあつまれる場所の提供（公民館、コミュニティカフェの活用）		投票 ●●●●					
		4					
<u>まとめ2欄</u> 情報提供の方法を考える（テレビ、情報誌、インターネット等）		投票 ●●●●●●●●●●					
		10					
<u>まとめ3欄</u> 独居高齢者への聞き取り者の提供		投票 ●●					
		2					
<u>残したい意見</u> 高齢者の話を聞いてくれる・話ができる場所と手段とサポートしてくれる人が必要		投票 ●●●●●●					
		5					

D	グループ	山口	相原	伊藤(千)	岩本	渡辺	伊藤(勝)	野田	
討議テーマ	高齢者の社会参加をより一層促すために必要なものは？								
<p>高齢者と区切りよりもっと前の年齢から社会参加できた方がよい ※スポーツ          自分でできる事をまず一步前へ出よう。市、行政も大変だと思うし、皆でできる事をしてみよう。          男性がもっと外に出かけられる機会をふやしたい          サークル活動をもっと盛んにしたい          子どもと大人と高齢者の区別なく（一緒に）ボランティア活動をする。          料理好きな人達が作ったものを食べる場を作る</p>									
10人に4人が認知症の現在、本格的な脳トレーニング教室をつくる 脳トレを単発的にしてほしい									
多治見市として子供とか高齢者が散策とか広場的なところが少ないような気がします。 子供達とのふれあいの場がほしい 公民館とかふれあいセンターを身近に利用させていただければ良いかと思います。									
巡回バスに回ってほしい。 サービス付き高齢者住宅の設置 高齢一人暮らしになったら歩いて行けるスーパー、食事ができる施設がほしい。									
高齢者になっても賃金がほしい。ボランティアばかりでなく！									
まとめ1欄	年齢問わず参加できるような活動の場 スポーツクラブ・料理教室等						投票 ●●●●●●●●●● ●●		12
まとめ2欄	認知症予防の為の脳トレーニング教室の継続的实施						投票 ●●●●●●●●		8
まとめ3欄	世代を超えた交流の場をつくる。						投票 ●●		2
残したい意見	高齢になっても収入を得られる場 サービス付高齢者住宅の設置						投票 ●●●●●●●●●● ●		11

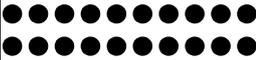
E グループ	飯田	山田	田中	井澤	西村	藤井	佐々
討議テーマ	1. 高齢者の社会参加をより一層促すために必要なものは？						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域や社会活動、ボランティア、市民情報参加して選択</li> <li>・小さな地域(町内)で行っているラジオ体操を地域で広く知らせ輪を広げたい</li> <li>・区、地域での社会福祉委員が活動してコンシェルジュ的な役割をする</li> <li>・地域から発信したい</li> <li>・地域で行っているコミュニティの場、社会参加の様子を知らせれば(広報などで)輪が広がるのでは</li> <li>・福祉委員に吉かけ/チラしかん……???してもらおう</li> </ul>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加したい人は多いと思う</li> <li>・人が集まる場所 スーパーなどと協働して活動があるといいな</li> <li>・広報で活動を知らせる</li> <li>・社会参加できる行事やイベントの一覧があると良い(子供向けの夢ネットのような)</li> <li>・高齢者用の社会参加項目のタイトルを掲示</li> <li>・(児)案内 ⇒ 高齢者用にも欲しい</li> </ul>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・会社を退職するときに多治見市から案内をもらう</li> <li>・定年退職のときとかに・—— ・—— ・—— の情報が知らせたい</li> <li>・前期/後期ステージ??????</li> </ul>							
<p>まとめ1欄 地域より発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各委員(福祉委員、青少年体育委員)より身近な所へコンシェルジュ的な役割をってもらう(声掛け)</li> <li>・ラジオ体操等より</li> </ul>	<p style="text-align: right;">投票</p> <p style="text-align: center;">●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">8</p>						
<p>まとめ2欄 広報案内の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社会参加できる行事、イベント一覧を用意(児童向け夢ネットのようなもの)</li> <li>・人の集まる場所、スーパーなどに依頼</li> </ul>	<p style="text-align: right;">投票</p> <p style="text-align: center;">●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">8</p>						
<p>まとめ3欄 案内をかけるタイミング</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会社定年退職時</li> <li>・前期/後期高齢者になるタイミング</li> </ul>	<p style="text-align: right;">投票</p> <p style="text-align: center;">●●●●●●●●●● ●●●●●</p> <p style="text-align: right;">14</p>						
残したい意見	<p style="text-align: right;">投票</p>						

## 討議テーマ2

A グループ	宮本	伊藤	狩山	櫻井	竹下	西村	内藤
<p>討議テーマ 高齢者とともに皆が活躍できるしくみを考えよう</p>							
<p>子育てを教えてくれる場所、話をする場所            公民館で昔の遊びを子供に伝え一緒にやる            子育て世代との相互支援、個人的なシッター契約、そこまでいかなくても見守りお互いに            子供さんとおじちゃんおばちゃん一緒に住んで良い経験あります、高齢者と若者一緒になんてやると良いと思います            公民館で子育て情報支援のつどい            介護教室（経験者による）</p>							
<p>料理教室            バザーを若い人と一緒に共有する            高齢者＝知恵がある、若者＝体力がある 経験共有できる。休耕地を使って家庭菜園をする            バザー参加して老人ボランティア活動公民館で出来るように。高齢者の社会活動が元気を出します。            空いた農地で高齢者と若者（小中）とで農作業（種まき～収穫まで）            個人の得意分野（好きなこと）等を教えてもらう。草木染め等</p>							
<p>高齢者のやりたいことをカルチャー教室等で地域開催できるようにする            学校で歴史と一緒に高齢者の体験を聞く            小中学校で職業経験談話            子供とふれあいの場を作る、高齢者の職業の話をする</p>							
<p>高齢者と子供のふれあいの場を設ける。            公的ネット等で高齢の方々が〇〇がしたい、と意見や情報が得られるシステム作り。            市にどんどん情報支援や活動の場やネットのシステムを作って欲しい。            利用しやすいように公園の整備をすることで交流の場を活かせる。            おばあちゃんの知恵講座←ネット活用して            小さな空き地のような公園を作る。</p>							
<p>まとめ1欄            公民館を活用して、ふれあいの場をつくる！            （介護情報の提供、子育て談話、昔の思い出話など）</p>	<p>投票</p> <p>●●●●●●●●●●●●●●            ●●●●</p> <p style="text-align: right;">13</p>						
<p>まとめ2欄            料理教室、バザー、家庭菜園を通して、共に活動できる場を作る。</p>	<p>投票</p> <p>●●●●●●●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">10</p>						
<p>まとめ3欄            学校で職業体験や歴史を談話する。</p>	<p>投票</p> <p>●●●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">8</p>						
<p>残したい意見            市へのお願いとして、小さな公園を作る。（公園の整備、充実：カゲやベンチをつくる）            インターネットを活用しての情報提供、情報収集（ネット上の公園：掲示板のような物）</p>	<p>投票</p> <p>●●●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">8</p>						

<b>B</b>	グループ	永江 藤井 相原 山田 永田 野田
<p>討議テーマ 高齢者とともに皆が活躍できるしくみを考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関心のある活動には積極的に関われる</li> <li>・団体・クラブ・組織化すると、参加しにくい人がでてくる。全員個人参加にする。とか</li> <li>・次にやることをすぐに決めて間を明けずにやる。</li> <li>・お迎えに行く。</li> <li>・父母参観・祖父参観以外に一般人が自由に小学校参観できる日は、出来ないか？自分の出来る事を教えるのも可</li> <li>・文化祭を開催してはどうか</li> <li>・学校などで高齢者が子どもに（遊びや習字など）教える</li> <li>・高齢者の培ってきたもの体験した遊びなどを子ども達へ伝承する（次世代交流）</li> <li>・文化祭や体育祭等のイベント。</li> <li>・文化祭、運動会など子供からお年寄まで参加できるイベントを開催</li> <li>・自分の持っている技術や昔の遊びなど伝えていきたい</li> <li>・ボランティアを行うためのノウハウを学ぶための講座</li> <li>・あいさつの活動</li> <li>・市民活動に対する情報をもっと提供する</li> <li>・現在の市などで活動している内容をわかるようにしてもらえれば、活動に参加しやすくなるのではないか</li> <li>・自分がこういう活動をしたい、こういう技術を持っている社会の役に立ちたいと逆オファーすることに市などが答えてくれる仕組みがほしい</li> <li>・「1家庭、1ボランティア」の小さな行動からはじめられる→発信が欲しい</li> <li>・様々の団体に所属しない一般の人が、気軽に交流できる機会を多くされたい。</li> <li>・回覧などを使ってみたらどうか？</li> <li>・公共などのものではまだしきいが高い！！</li> <li>・参加したいイベントがあるとき、行きやすい仕組み作り 交通手段、声かけ</li> </ul>		
まとめ1欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の組織にはしきいが高く参加しにくいいため、気軽に少人数で参加できる仕組み作り。必要</li> </ul>	<p>投票</p> <p>●●●●●●●●●●</p> <p>9</p>
まとめ2欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化祭や、運動会など子どもからお年寄りまで参加できるイベント</li> <li>・自分の持っている技術や昔の遊びなどを伝えていきたい</li> </ul>	<p>投票</p> <p>●●●●●●</p> <p>5</p>
まとめ3欄	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参加したいイベントがあるときに、行きやすい仕組み作り（交通手段、声かけ、広報）</li> </ul>	<p>投票</p> <p>●●●●●●●●●●</p> <p>8</p>
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容の周知方法をもっと簡単に</li> <li>・回覧板の規制を下げる。駅やスーパーなどの人の集まる場所に活動情報（イベント予定）をアピールできるように</li> </ul>	<p>投票</p> <p>●●</p>

C グループ	飯田 渡辺 岩本 高津 伊藤 日下部 武藤
討議テーマ 高齢者とともに皆が活躍できるしくみを考えよう	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人の趣味を生かした集まりに参加</li> <li>・きっかけ作り 女性がリードする</li> <li>・ペットちゃん仲間のネットワークを利用</li> <li>・外に出ない男性を奥様のひとでつれ出す</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報発信 初心者歓迎など表示 初めてのところには入っていきにくいので</li> <li>・情報公開が必要</li> <li>・気付き、きっかけ作りを前向きに行っているか</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・単なるボランティアではなかなか続かない</li> <li>・何が粗品、サービス券</li> <li>・多治見市指定のゴミ袋</li> <li>・強制された方が男性は参加しやすい</li> <li>・企業協賛の品物を頂きたい!!!</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会についてもっと知らせる</li> <li>・町内会のしくみを強化する</li> </ul>	
<u>まとめ1欄</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動に参加するきっかけを作る</li> </ul> ペットネットワーク 強制参加 男性は奥様が連れ出す	投票   8
<u>まとめ2欄</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・活動団体が活動内容を広く公開して初心者が参加しやすいとする</li> </ul>	投票   9
<u>まとめ3欄</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加する人のモチベーションをあげるため粗品を提供する (企業協賛など) 図書カード、QUOカード 試供品など</li> </ul>	投票   5
<u>残したい意見</u> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会のしくみをもっと知らせる</li> </ul>	投票   3

D グループ	星野	牧野	井澤	田中	幅	葭田
<p>討議テーマ 高齢者とともに皆が活躍できるしくみを考えよう</p>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・サイクルをつくる「出→つながる→続」 イベント→コミュニ→つなげていく</li> <li>・おむかえサービス</li> <li>・交通の便が大事 無料パス</li> <li>・無料バスで町内に迎えにきてほしい</li> <li>・交通手段がポイント</li> <li>・フリーパス</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション</li> <li>・‘戦争‘をテーマ 高齢者の語り</li> <li>・内容団体のコラボ</li> <li>・高齢者がやりたいと（やってみたいこと）相談、話し相手（語り）</li> <li>・高齢者に（子供）に（昔の現代の）遊びを教えてもらう</li> <li>・物をつくる大工的なものづくり</li> <li>・遊びがキーワード</li> <li>・子どもと一緒に活動するのが良い</li> <li>・独居の方宅→やってみようかなと思える魅力づくり</li> <li>・高齢者の方と子供たちとふり合いを作る むかしの遊びなどを子供とつたえる</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・老人と子供</li> <li>・高齢者の方と若者との交流をもつ 遊び、ケータイの使い方、戦争の話）共通のテーマ</li> <li>・子供とのつながり</li> <li>・つながり</li> <li>・日本古来の行事を大切にしたい！</li> <li>・日常生活の文化 昔の話</li> <li>・地域内で草取り清掃</li> <li>・町内で声掛けが大事</li> <li>・着物のこと</li> <li>・話す（高齢者）←→つながる（若者）←→つなげる（NEW若者）交流のしくみ</li> <li>・料理教室 世代間の</li> <li>・保育園 宅老所</li> <li>・多治見にたくさんあるが伝わってない シルバー人材 ききょう大学</li> <li>・皆さん高齢者、子供を主に全員</li> <li>・体験者の声をわかりやすく伝える</li> <li>・体験者に取材して冊+ムービー配信伝える</li> <li>・高齢者に声かけをする</li> </ul>						
<p>まとめ1欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段の充実 <ul style="list-style-type: none"> <li>パスのすべて無料パス</li> <li>バス乗り場を増やす</li> </ul> </li> <li>高齢者の方同士のおむかえサービス <ul style="list-style-type: none"> <li>→個人ボランティアの補助（保険、ガソリン代等）</li> </ul> </li> </ul>	<p style="text-align: right;">投票</p>  <p style="text-align: right;">20</p>					
<p>まとめ2欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニケーション</li> <li>戦争体験の語り、古来の遊び文化を子供に伝える</li> <li>子どものものづくり体験、着物の着付けを教える</li> <li>若い世代からパソコン、スマホの使い方を教えてもらう</li> <li>世代を越えた料理教室、各団体のコラボレーション</li> </ul>	<p style="text-align: right;">投票</p>  <p style="text-align: right;">9</p>					
<p>まとめ3欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・既存の仕組みを伝え、実行し、継続させる取り組み <ul style="list-style-type: none"> <li>宅老所、シルバー人材、ききょう大学、他既存の団体</li> </ul> </li> <li>高齢者への声かけ</li> </ul>	<p style="text-align: right;">投票</p>  <p style="text-align: right;">6</p>					
<p>残したい意見</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体験者の体験をわかりやすく伝える取り組み</li> </ul>	<p style="text-align: right;">投票</p>  <p style="text-align: right;">5</p>					

E グループ	栗田 松本 山口 吉田 長江 佐々
討議テーマ	高齢者とともに皆が活躍できるしくみを考えよう
<p>高齢者との垣根を外す            年齢の区切りより地域の区切りがより効果的な影響が出る            年齢などで参加できないようにしない</p>	
<p>高齢者のニーズを知る            ニーズ (NEEDS) がどこにあるか、本人から発信される要求がいつでも聞けるSituation            交流センターや児童館、公民館と継続して活動していける場の提供。子供の時から地域参加            高齢者のニーズを知るとらえて中から意見を聞く            高齢者だからとか、子供だからとか、対象制限をなくす。やりたい人が集まる</p>	
<p>交流の場に一步踏み出すことから始める            一步踏み出すきっかけを作る            高齢者 (65歳以上) となる前に、地域とのつながりを作る必要がある。            40歳からのボランティア講座 (男性用)</p>	
<p>職業訓練だとか、職業体験できる場を提供できれば            あいさつを大事にして、地域で色々な年代の人と交流する            夏休みに実施されているラジオ体操を定期的実施する            各サークル、年に1回ボランティアをすれば公民館使用料無料</p>	
<p>まとめ1欄             地域の全世代のニーズを捉える、小さなコミュニティで実現していく</p>	<p>投票              4</p>
<p>まとめ2欄            年齢の垣根を外して全世代の参加をうながす            (ラジオ体操、あいさつ、清掃など)</p>	<p>投票              6</p>
<p>まとめ3欄             若いうちから地域とのつながりを作っておく            地域が孤立しないように手をさしのべる            公民館などを地域の活動の中心にする</p>	<p>投票              3</p>
<p>残したい意見             職業訓練だとか、職業体験できる場を提供できる場所を作る</p>	<p>投票              4</p>

### 討議テーマ3

A グループ	牧野	佐々	渡辺	山田	伊藤	宮本	
討議テーマ 3. これからの多治見のまちづくりに必要なものは何ですか？							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいキャッチコピーを作る(より良いイメージ作り)</li> <li>・すてきなキャッチコピーをつくる</li> <li>・新しいうながっぱ神話. アマテラスオオミカミ++パワースポット+うながっぱ</li> <li>・キャッチコピーを作る</li> </ul>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットで多治見の魅力のプロパガンダ</li> <li>・空家の提供</li> <li>・ネットを使って全国に発信</li> <li>・けいじばんに情報をのせる</li> </ul>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・Wi Fi SPOT 無料フリーサポート</li> <li>・無料Wi Fi スポットの設置</li> <li>・人が集まれる場所作り ウィファイスポット</li> <li>・人が集まる場所作り</li> </ul>							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いなかと街の両方の良さがあるのでとてもすみやすい</li> <li>・み力ある街づくりをする</li> <li>・住み心地の良い町. 観光資源が多い</li> <li>・住民がホコれるもの</li> <li>・高令者が住み心地が良い町作り</li> <li>・シャッター街 ペイントアートでかざる</li> <li>・大学ゆうち</li> <li>・大学誘地</li> </ul>							
<b>まとめ1欄</b> 魅力ある街作り		投票 					9
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いなかと街の両方のよさがあるので住みやすい</li> <li>・観光資源が多い</li> <li>・更にすてきなキャッチコピーを作って内外にアピール (ウナガッパ神話)</li> </ul>							
<b>まとめ2欄</b> 魅力ある街作りのための情報発信		投票 					4
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネットを使って全国に発信</li> <li>・掲示板に情報をのせる (リアルなものetc. 町内板)</li> <li>・空家の利用</li> </ul>							
<b>まとめ3欄</b>		投票 					7
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が集まり、情報交換できる場所作り</li> <li>・ワイファイスポット、無料フリースポット</li> <li>・場所作りは多く</li> </ul>							
<b>残したい意見</b>		投票 					8
<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学ユウチ</li> <li>・シャッターアート</li> </ul>							

B グループ	高津	竹下	野田	飯田	山口	葭田	星の	
討議テーマ	3. これからの多治見に必要なものは何ですか？							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ袋を持って花火大会に行く</li> <li>・ ゴミばこがない、自分でする意識がもちづらい、管理をシルバーさんに…雇用が生まれる</li> <li>・ ゴミ袋をもうすこしやすく</li> <li>・ 子育て世代、介護世代への補助</li> <li>・ 清掃ボランティアの人はゴミ袋をもらえる</li> </ul>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 健康づくり ウォーキングロードの整備</li> <li>・ 健康づくりのための設備を！ 今あるものの利用</li> </ul>								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 商店街の復活を！！ 遊歩道がわりの利用 すがもみたいな</li> <li>・ オリベストリートと銀座通りのコラボ</li> <li>・ 道の駅 名古屋へ帰る途中による</li> <li>・ 多治見のまちは暗いと聞きますから歩きながら買い物ができ月1回歩行者天国にして活気のある町にしたい</li> <li>・ (新)グルメを開発！</li> <li>・ 人の集まる場所</li> <li>・ 企業誘地を積極的に</li> <li>・ シネコンとか…デパートとか</li> <li>・ 小さな子供とともにあそべる公園がもっとほしい</li> <li>・ 子どもを連れて遊べる広場が少ない。(高価な遊具はいらない)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 情報発信が足りない 市からの</li> </ul>								
まとめ1欄	街をきれいにするしくみ作り(モラルを育てる)						投票	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ゴミ袋を持って花火大会</li> <li>・ ゴミ箱の積極的な設置</li> <li>・ ゴミ袋の補助(子育て、介護世代)</li> </ul>							18
まとめ2欄	公園、遊歩道などの運動施設を充実させる						投票	
								6
まとめ3欄	市内におけるレジャー施設が欲しい(赤ちゃんからお年寄りまで)						投票	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道の駅・オリベストリートや商店街のコラボ・グルメ開発</li> <li>・ えいが館やデパート、シネコンがあるといい</li> </ul>							14
残したい意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 調べないと知る事ができない、補助など…</li> <li>・ 市から市民へのわかりやすい情報発信を！！</li> </ul>						投票	
								1

C グループ	西村 藤井 岩本 内藤 吉田 幅 狩山
<p>討議テーマ これからの多治見のまちづくりに必要なものは何ですか？</p>	
<p>まちづくり＝人づくり＝人との連携 この仕組みづくりが必要か？ 民生委員等地域の人の輪を作りたい！</p>	
<p>民間企業だけど… 新聞配達、郵便配達、牛乳配達等 安否確認として異常がある時は連絡してもらい流れをつくる 高齢者への訪問 【具体例】農作業をする人から野菜を買う→お弁当をつくる→配達する（安否確認）（コミュニティーで行う） 高齢者向けのマンションづくり 1階をテナントにして入居者の方に働いてもらう 飲み会、食事会、こんだん会 地域の人々を知る機会を増やす 相談、地域講座、やりたいことも、高齢者の方が交流の機会を増やす 認知症予防のために 【例】－農作業－高齢者、子どもとつくる</p>	
<p>活動情報の項目一覧表があれば、必要な項目に対し問い合わせて詳しい内容を聞けるもの 退職後、困った時にどうすればいいのか聞きにいける窓口がわかるとか、忘れがちな事項が記載してある冊子をつくる（子育ての冊子はある！） 情報の開示の仕方 ピンポイントの情報 親の介護についておしえてくれる 介護人ー情報 高齢者が行っている活動のPR（情報誌） ジジズ・カフェ男性版 ババズ・カフェ女性版 ママズ・カフェ子育てママ版</p>	
<p>高齢者が手作りしたものを販売する 障害者、高齢者の方がつくった商品を、コンビニ、スーパーなど民間の小売業者に卸し、販売してもらう</p>	
<p><b>まとめ1欄</b> ・まちづくり＝人づくり＝人との連携 この仕組みづくりが必要 民生委員等 地域の人の輪</p>	<p>投票 ●●●●●</p> <p style="text-align: right;">5</p>
<p><b>まとめ2欄</b> ・高齢者向けのマンションをつくり、1階をテナントにして、働いてもらう ・飲み会、食事会、こんしん会、地域の人々を知る機会を！ ・農作業をする人から野菜を買う→（高齢者が）お弁当をつくる→配達（安否確認） ・高齢者訪問（民間企業だけど新聞配達。郵便配達）</p>	<p>投票 ●●●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">9</p>
<p><b>まとめ3欄</b> ・必要な項目に対し、詳しく内容を聞けるもの（退職後、親の介護…） ・高齢者の活動のPR（ジジズ・カフェ、ババズ・カフェ）</p>	<p>投票 ●●●●●●●●●●</p> <p style="text-align: right;">9</p>
<p><b>残したい意見</b> ・障害者、高齢者の方がつくったものを民間（コンビニ、スーパー）等で販売してもらう</p>	<p>投票 ●●</p> <p style="text-align: right;">2</p>

<b>D</b> グループ	松本 長江 田中 伊藤 日下部 永田
討議テーマ	これからの多治見のまちづくりに必要なものは何ですか？
低料金の一時預かり保育料 子育てしやすい環境 子どもを大切にするという意味で熱中症対策で学校にクーラーが欲しい パートタイムの仕事でもたのめる子供をあずけ料金を設定出来る組織	
人とつながる為の知識、知恵 近所とのつながり 近所で声かけ「おはよう」の一言 保育園、幼稚園への送りむかえなどで近所のおばさんにたのめるなど 人が元気	
シャケプロジェクト 育った町に帰ってくる アピールポイントをつくる 土岐川を中心に景観のよいまちづくり	
既存の市の活動の情報公開 インフラ（交通網）の整備 ・多治見～土岐間の新駅 ・多治見～瀬戸への鉄道ルート など 道路の整備 若い人が定着しやすい企業の誘致 住宅環境 公民管理用の規制緩和	
まとめ1欄 ・低料金で一時的預かりできる保育施設（システム）を作る （子育て世代の支援と高齢者の活用）	投票 ●●●●
まとめ2欄 ・人と人とのつながり 例：近所の声かけ、地域の共同作業	投票 ●●
まとめ3欄 ・シャケプロジェクト（若い人達がこの町に戻ってくる） 例：土岐川を中心に景観のよい町づくり 各地域の自然を利用 企業の誘致 等	投票 ●●●●●●●●●●
残したい意見 ・市民主導でやるが、法整備などは市のバックアップ ・既存の市の活動の情報公開 ・市民の声を反映するだけでなくプラスアルファとして企画運営を ・既存のハコモノの有効活動 ・公民管理用の規制緩和	投票 ●
	4 2 9 1

<b>E</b> グループ	櫻井 相原 永江 栗田 武藤 井沢
討議テーマ	これからの多治見のまちづくりに必要なものは何ですか？
道幅を広くする 交通の便をもっと良く 道路を増やす 交通渋滞解消 橋をつくる 道路をつくる 交通を充実させ人口の車を減少させる 端を増やす 端を増やして欲しい バスのアクセスを良くする (本数、始発、終発)	
自慢出来るものか少ない 何か欲しい 多治見の自慢できるものを作る 太陽光発電で市の電気をまかなう 陶器をキーワード？ こけい山に櫻の木をふやす 公共施設はすべて太陽光を利用する 日本一暑い街 太陽光促進日本一多い街 もっと多治見全体をまきこんだ大きなお祭りがしたい	
箱ものでなく文化が大事 地場産業に加え名古屋通勤圏の考えを加え人口を増加させる 多治見は勤圏、地場産業もあるが割り切ることも大事	
駐車場をもっと増やして ゆうちを 車の利便性を 駐車料金を安くしてほしい 子どもに運営を任せたいお店、子どもの意見を取り入れた	
<u>まとめ1欄</u> ・交通渋滞の解消する為道巾をひろくする、土岐川に橋を作る、バスの本数を増やす	投票 ●●●●●● 6
<u>まとめ2欄</u> ・人にじまん出来るものを作る (太陽光を日本一多い街にする、公共施設をすべて太陽光を利用する、こけい山に櫻の木を増やす)	投票 ●●●●●●●●●● 10
<u>まとめ3欄</u> ・地場産業を活性化しつつ、通勤者にもメリットのある、二本柱で進める	投票 ● 1
<u>残したい意見</u> 子ども商店街をつくる 駐車場を増やして料金を安くする。	投票 ●●●●●●●●●● ●●●●●●●● 18

## 討議テーマ4

A グループ 竹下 永田 幅 藤井 岩本 井澤 櫻井	
討議テーマ	これからの多治見をどんなまちにしたいですか？
<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心、安全な町⇒医療補助による市民の健康な暮らしをサポート 例えば、高齢者への肺炎球菌予防接種への補助など、予防医療の充実とそれに伴う医療費削減</li> <li>・広報スピーカーを活用した地域の治安向上活動 ⇒広報案内をすべての人が聞きやすいように工夫</li> <li>・「今から帰ります」という子供たち自身による帰宅予告の放送⇒地域の人々の見守りに対する意識向上</li> <li>・治安向上で子供やお年寄りにとって安全な町作り、自警団によるパトロール</li> <li>・税制、環境、経済等に多方面での暮らしやすさの実現</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国へのアピール、観光資源を増やす</li> <li>・市内の隅々まで網羅した観光者向けの交通ネットワークの実現</li> <li>・多治見の観光、グルメ情報の売り込み（旅行雑誌への告知掲載や主要駅にポスター掲示など）</li> <li>・テレビ番組の企画誘致</li> <li>・多治見の目玉作り⇒既存のものを更に伸ばし、新たな方面でのアピールポイントを探る</li> <li>・セラミックパーク美濃の有効活用</li> <li>・愛岐トンネルなどの歴史的建造物の有効活用</li> <li>・国際陶磁器フェスティバルを市民全体で盛り上げていくような働きかけ</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・渋滞緩和のために、自転車利用数をあげる試み⇒安全な自転車道の整備</li> <li>・名古屋方面への通勤者支援のために地下鉄を市内まで拡張誘致</li> <li>・車に代わる新たな交通手段の考案</li> <li>・多治見～中津川間の交通アクセス向上（リニア開通に向けた積極的な働き）</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子供を中心としたまちづくり討議会の新設、あるいは既存のものへの拡張</li> <li>・多治見で働き、暮らす人々の増加⇒人的資源の地産地消</li> </ul>	
<b>まとめ1欄</b> <b>安心、安全な町にしたい</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の（医療的な）予防、保全補助をあつくる</li> <li>・子供のためのパトロール強化、広報活動</li> <li>・防災無線などの小回りのきいた整備</li> <li>・子供のたちによる防災無線を用いた下校時間のお知らせ放送</li> </ul>	投票 
<b>まとめ2欄</b> <b>アピール、自慢のできるものがある町にしたい</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・歴史的建造物の有効活用（愛岐トンネル群の拡充）</li> <li>・外国向けのアピールポイント</li> <li>・観光者向けの隅々まで行き届いたサービス</li> <li>・美濃焼フェスティバルの市民全体で共有し盛り上げていく</li> </ul>	投票 
<b>まとめ3欄</b> <b>便利な町にしたい</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自転車専用道路の整備</li> <li>・多治見までの地下鉄整備</li> <li>・リニア開通に伴い、多治見～中津川間のアクセス向上</li> </ul>	投票 
<b>残したい意見</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供たじみ市民討議会の開催</li> <li>・諸税金を安くすることで市民の暮らしを保障</li> </ul>	投票 
17	

B グループ 狩山 永江 日下部 西村 伊藤 田中	
討議テーマ	これからの多治見をどんなまちにしたいですか？
<b>安全</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国際交流、外国人（外国人旅行者や留学生なども含む）にも安心して暮らせる環境</li> <li>・交通安全、事故のない安全な町⇒見守りの方を増やす</li> <li>・朝方に大きな音量で町内広報を放送しない町</li> <li>・笑顔でいられる町</li> </ul>	
<b>医療・福祉</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の充実した利益性のある多治見</li> <li>・医療費のかからない町</li> <li>・健康な町</li> </ul>	
<b>豊かさ</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・友人知人に自慢のできるような町</li> <li>・「日本一アツい」だけじゃない、自慢のできるもの（ex. 暑さを生かした建物、オブジェ）がある町</li> <li>・ショッピングセンター、映画館等の市民が楽しめる町、地元商店街とのコラボ</li> <li>・商店街のシャッター通りの有効活用</li> <li>・豊かさを感じられる町作り、車と人それぞれのことを考えた道路作り</li> <li>・歴史や自然、そこに暮らす人々が大切にされている町</li> <li>・日本の中心であるという地理的利点を生かした物流、流通関係の企業誘致</li> </ul>	
<b>まとめ1欄</b> <b>安全な町</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交通安全のために地域の見守りを増やす</li> <li>・道路の整備</li> <li>・外国からの人々も暮らしやすい、静かな町作り</li> </ul>	投票  8
<b>まとめ2欄</b> <b>福祉、医療の充実した町</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利益性の高い福祉サービス</li> <li>・検診、生活習慣病予防などの予防医療⇒医療費の削減</li> </ul>	投票  9
<b>まとめ3欄</b> <b>豊かさを感じられる町</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本一暑いだけでなく友達に自慢できる町作り</li> <li>・商店街の有効な活用</li> <li>・自然が大切にされている町作り</li> </ul>	投票  5
<b>残したい意見</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の中心であることを生かした物流関連の企業誘致</li> </ul>	投票  3

C グループ	星野	吉田	相原	渡辺	野田	山田	葭田	
討議テーマ	これからの多治見をどんなまちにしたいですか？							
<p>陶器産業を観光事業と組み活性化させる。  多治見の陶器を日本中が使う。高級ブランド化  若い男の方達が働く所がないから工業団地などを作っていただきたい。  パローや商店街を守ることばかりで、経済発展が止まっているようだ。経済収益を上げてほしい。  経済発展、収益を上げてほしい。</p> <p>乳児連れ、足腰が悪い、忙しい、あちこち行きたくない。一日中いてもあきない1カ所で全ての買い物ができるところ。  地域に密着した暮らしができる。  高齢者が安心して暮らせる町になってほしい。  独居という言葉がなくしたい。コミュニティーの充実。  全世代が仲良く暮らせる町にしたい。  ベッドタウンなら「誰もが眠りに帰りたいと思う」ことに特化する。  空き家を活用。空家バンク  介護のいらない町づくり。健康づくりの促進。  自分の子供が住みたいと思うまち。衣・食・住  太陽光発電などエネルギーも多治見でまかなう。  1カ所で済ませることが出来る買い物場所がほしい。食事、衣類、食品、イオンが理想的  多治見で生産されたものを食し、多治見で作られたエネルギーを使用して生活できる町になってほしい。</p> <p>きれいな町づくり。  発展はある程度必要だけど、自然は残してほしい。  自然を残してほしい。</p>								
まとめ1欄	<p>経済的な豊かなまち  多治見の陶器を日本中で使ってもらい高級ブランド化を図る。  パロー、商店街以外に経済発展でき要素の充実。  (工業団地の建設、観光産業の活性化、陶器産業と観光事業のコラボ)</p>			<p>投票</p>				12
まとめ2欄	<p>暮らしの豊かさを実感できるまち  全世代が仲良く暮らせる街づくり。  一日中いてもあきない1カ所で全ての買い物ができるところを誘致してほしい。  (イオンモールなど)  高齢者が安心して暮らせる町になってほしい。  健康づくり、介護のいらない町づくり。  自分の子どもが住みたいと思う町。空家バンク</p>			<p>投票</p>				15
まとめ3欄	<p>環境の豊かさを感じられるまち  きれいな町づくり。  発展はある程度必要だが、自然は残してほしい。</p>			<p>投票</p>				5
残したい意見	<p>多治見で生産されたものを食し、多治見で作られたエネルギーを利用して生活できるようになってほしい。</p>			<p>投票</p>				9



E グループ	山口	内藤	武藤	宮本	飯田	長江
討議テーマ これからの多治見をどんなまちにしたいですか？						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺 立川市 国立駅</li> <li>・富山市の税制 モノレール（路面電車）で公共機関の町づくり</li> <li>・コンパクトシティ 高齢者は車の運転が大変</li> <li>・駅周り 東京都立川市の駅まわりのようになるといいな</li> <li>・高齢者町内のマンション</li> <li>・子育て世代は住宅地</li> <li>・大学キャンパスと合わせて学園都市間 国立市</li> <li>・学園都市</li> <li>・地区で一体となった町づくり</li> <li>・地区開発 オリベストリートと銀座通り 産業文化会館</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通の便をよくする（市内の）</li> <li>・公共交通機関を充実させてショッピングモールにつなげる</li> </ul>						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの遊ぶ所がないので家族で行ける所があるといいです（高価な遊具はほらない）</li> <li>・河川敷の整備の充実 魅力ある場所にする</li> <li>・河川敷の充実</li> <li>・多治見市内だけ幸せ</li> <li>・東町周辺 プール、ジブリの森、複合公園、安全で家族で遊ぶ</li> <li>・プチリゾート化</li> <li>・プールがない 暑い町多治見で水遊びができない</li> <li>・自然は守る</li> <li>・余り山や川をなくさないでほしい</li> <li>・多治見市住んでいいね、と他市に住んでいる人から言われるような市にする</li> <li>・「いいなあ」ってうらやましがられる町 日々便利買物ーイオンモール</li> <li>・非公式キャラ投入</li> <li>・大型ショッピング施設を作る（イオンモール等）＝日々便利</li> <li>・総合施設買い物を選べる店（イオン等）大きな店舗が多治見に入るといい</li> <li>・このテーマについてより定期的な市民討議会が必要（グループ）</li> </ul>						
<b>まとめ1欄</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・欲ばりな街づくり</li> <li>・人口、自然、デパート、ショッピングモール、プール、遊ぶ場所、ザーと多治見人（小学校～大学）</li> </ul>	投票 					11
<b>まとめ2欄</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東町周辺をジブリの森にしてほしい</li> <li>自然を残して遊ぶ場所、プチリゾート</li> </ul>	投票 					6
<b>まとめ3欄</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・駅周辺→東京立川市、国立市</li> <li>→富山市路面電車</li> <li>コンパクトシティ</li> <li>中心地に高齢者用マンション</li> <li>車がなくても便利に生活できる</li> </ul>	投票 					5
<b>残したい意見</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・他市に住んでいる人に自慢できる街</li> <li>・多治見市民が一番幸せな街</li> <li>・非公式キャラの乱立</li> <li>・市民討議会の発展</li> </ul>	投票 					4

## アンケート集計結果

---

討議会後に参加者に記入して頂いたアンケートの結果を添付します。

また各設問ごとに、実行委員長のコメントを入れてあります。次年度はこの結果も参考にしながら、より良い討議会にしていきたいと思ひます。

『たじみ市民討議会2014』参加者アンケート 集計結果

設問1. 参加動機（複数回答）

	2014		2013
テーマに関心があったから	13 票	32%	17%
新しい市民参加型だから	9 票	22%	21%
無作為抽出で選ばれたから	14 票	34%	41%
その他の理由	5 票	12%	21%

コメント

- ・もう2度とない機会だと思ったから。この先の自分の街を良くしたかったから。
- ・単純におもしろそう！と思ったことがきっかけです。
- ・断る理由がなく、一多治見市民として参加意義を感じたから。
- ・市民歴の短い者の意見もあった方が良かったかと思ったから。
- ・せっかく選んで頂いたので。予定のない日程だったから。
- ・自分の今の仕事に役立つと思ったから。
- ・関心もありましたが、これからどんな街になるのか知りたかったから。
- ・自分にとっても良い経験になればと思って。
- ・多治見市のこと(現状等)を知りたかった。
- ・子育て&親の介護をしているから。
- ・市民間の話し合いに興味があったので。
- ・他の市であまり聞いたことがないから。

参加動機について、「テーマ」と「市民参加型」を合わせると6割以上にのぼり、「街を良くしたい」「市民間の話し合いに興味があった」など参加前から討議会の意義を感じていたことがわかるコメントも寄せられていることから、参画意識の高さが伺える。

設問2. 市民の声を行政に反映させる手段として適しているか

	2014		2013
適している	26 票	74%	65%
分からない	9 票	26%	30%
適していない	0 票	0%	0%
その他	0 票	0%	4%

コメント

- ・グループディスカッションでまとめられた意見は、生の声から少し外れてしまう。  
初対面のメンバーの中で、なかなか本音は出しにくいのかもしれません。
- ・時間的にはもう少し余裕がほしい。討議時間を多くすべきでは？
- ・討議テーマ①や過去のテーマで「多治見駅を魅力あるものにするには」等具体的なテーマについての討議なら適していると思う。市民の声とするならば、より情報提供し、より深く具体的に討議する必要があると思いました。
- ・討議テーマが大きいわりに、時間が少ない。1. 5日間でテーマ4つは多すぎる。
- ・適しているが、人数が少なすぎるのでは？／もしくは年2回？
- ・市民の声というには30余人では少ないのではないのでしょうか。
- ・適しているかどうかは判断するには、もう少し経過を見てからだと思う。
- ・過去の討議内容が今実現されているから。
- ・市民の声を伝える場所はたくさんあった方が良くと思う。
- ・財政の問題が大きいのでほとんど実行できないと思います。

票数を見る限り概ね「適している」と考えているようだが、コメントを見ると条件付きで適していると判断する意見や懐疑的な意見が多い。

設問3. 具体的な感想（複数回答）

	2014		2013
参加意識が持てた	21 票	38%	47%
参加だけでなく運営にも…	5 票	9%	13%
行政に関心が持てた	13 票	23%	19%
特に変化はなかった	17 票	30%	22%

コメント

- ・年齢を重ねると新しい事柄に取り組みにくくなる(気が重くなる等で)。でもこの機会にさらに何かに携わりたくまりました。
- ・コミュニケーションの大切さ/win-winの大切さを実感することができました。
- ・さまざまな市民と意見を交換しているうちに、この次の段階が気になり最終的にどう反映されるか気になった。
- ・自由な意見を出せることが一番。
- ・出席したことにより、多治見市民として意識が高まったと思う。
- ・他の方々の意見を聴くことで、より多くの視点で問題を捉えることができた。
- ・世代や職種などがちがう人達の意見を聞いたので意識が広がった。
- ・他の人の意見が聴けたことは有意義でした。
- ・多治見市の良いところ、悪いところがよりクリアに見えてきて、自分に何ができるかを知るキッカケとなった。話した内容が無駄にならないように・・・願うばかりです。
- ・高齢者でもお手伝いできれば参加したいと思います。
- ・この会に参加しなければ知らなかった市民の声が聞けたり、市をつくっている陰の力の存在を知ることができた。見えない人たちがつながりあって、多治見市があること、今を暮していただけることに感謝していきたい。
- ・いろいろな話が聞けてよかったです。
- ・日々、生活するのに精一杯で、行政まで手が回らない。
- ・意見を行政に届ける場として良い。

過半数が意識の変化を感じている一方、変化なしも30%にまで達した。

コメントでは、他の参加者の意見が聴けたことに対する満足度の高さが伺える。

設問4. 市が主催する討論に参加したことはあるか

	2014		2013
ある	11 票	32%	9%
ない	23 票	68%	91%

参加経験者が1割だった昨年と比べて、今年は参画意識の高い市民が多かった様子。昨年の注釈にもあったが、どのような討論に参加されたか確認すべきだった。

設問5. 市民参加の試みに今後も参加したいか

	2014		2013
参加したい	7 票	21%	26%
都合が合えば参加したい	24 票	71%	65%
参加したくない	2 票	6%	4%
無記入	1 票	3%	4%

積極的な「参加したい」と消極的な「都合が合えば参加したい」で9割以上を占め、市民参加の意識の向上が伺える。

設問6. 謝礼について

	2014		2013
あった方がよい	25 票	74%	83%
ない方がよい	2 票	6%	0%
その他	7 票	21%	17%

「あった方がよい」が7割以上を占める。欄外に、「どちらでもよい」「もう少し気安く参加できるよう少額でもよい」と書かれているアンケートもあった。

設問7. スタッフとして参加する意思があるか

	2014		2013
参加してみたい	8 票	24%	26%
参加したくない	8 票	24%	9%
分からない	18 票	53%	65%

「参加してみたい」と答えたうちの2人はオブザーバーなので、参加者だけに絞ると「参加したくない」が上回ってしまっている。そう判断した理由が知りたい。

設問8. 今後のテーマや街づくりについて

- ・エネルギー対策
- ・多治見駅南の街づくり
- ・災害時の高齢者に対する対応(高齢者は動作が鈍い、難聴もある)。
- ・節税をしよう、というテーマ。やっぱり税金が高いことが苦になるような老後を送りたくないし、正しく使われているのか知りたいから。
- ・観光のPR
- ・地域の人たち同志のコミュニケーションのとり方としてメンタルヘルス関連の話題。
- ・同じテーマでより深く討議するのが良いと感じました。
- ・病気予防
- ・税金と市民サービスの両立について。
- ・小中学校教育(登下校時も含む)。
- ・多治見に住んで良かったと思える町作り。
- ・市所有の施設(公民館、文化会館等)全ての情報公開(収入・支出・利用状況)することにより、市民が利用しやすくなっているのかチェックする。
- ・保健(保育園の建て直し)
- ・防犯関係、ライフラインの整備、費用、地産地消の取り組み。
- ・「子どもの体力について」。体力は生きる力となる。その体力が低下していると、意欲も下がる。今の子どもの体力は、今後未来の多治見市全体の体力である。体力が向上し、生きる力の向上につながり、活気ある多治見になると思う。
- ・若者が集まる、出ていかないまちにするには。戦争を風化させないようにするためには。
- ・福祉(介護施設やデイサービスについて)
- ・この討議会に職員も参加すべき(発言は禁止)。
- ・まず、現状の問題点を明確にしないとどうしたい、どうすれば、どうすればいいかという具体的討議につながらないと思いました。

市への要望に近い意見が目立つ。永田さんの意見は一度討議会でも話し合い、今年度は問題点の発見から参加者に行ってもらったが、再考の必要ありか。

## ご意見、ご要望

- ・討議会に参加できなくても、討議会が市政に提案することを継続して知りたい。提案事項に対する市政の対応も継続して知りたい。
- ・同じような議題に思ったのもう少し角度を変えてほしいと思いました。
- ・テーマが進むにつれ慣れてくるので時間の流れを臨機応変に対応してほしい。早目に終了するとか。
- ・討議会に出た案がどうなったのか必ず公開してほしい。
- ・とても楽しかった。多治見市民になったと実感できました。
- ・普段考えることのないことを考えるきっかけとなりました。貴重な場に参加できたことに感謝します。
- ・知らない人と多く知り合えて有意義でした。知らないことがたくさんあるんだと思い、もっと知るべきことがあるのか、と感じました。こんなに広い場所が必要？
- ・この会に参加するまで、わたしの中で「地域が密着していないな」という思いがどこかにあった。(が密着している)私と同じ考えを持っている人が多くいることを知り、地域密着は実現できると思った。
  
- ・多治見市に住んで本当に良かったと思っています。
- ・提言書および進捗状況一覧をHPなどで公開してほしい。
- ・自分の住んでいる以外の地区の事も少し知る事が出来て良かったです。時間に余裕が出来てきたので、自分の足で多治見市の色々な町内を歩いてみたいです。
- ・多少の不安をもって参加しましたが、自分の立場での意見でいいとの事で、それなりに楽しく参加できました。関心を広げることができた？
- ・このような討議会継続してほしい。8/23の意見集約内容楽しみにしています。
- ・似ているテーマが上下しているので、意見が重なってしまってもったいないかも。
- ・やはり、市民参加の討議は難しいと感じました。(テーマを絞ると誘導ととられますし、広げると漠然でわかりづらいとなる。)討議テーマ②では、しきみを考えるとありましたが、なかなかしきみの討議ができなかった(と思う)ので、ファシリテーターは専門の人がいいかなと思いました。

---

討議会に対して肯定的な意見もある一方、テーマの設定及び討議の進め方に対して鋭い指摘もある。個人情報をおかさない参加者が多いこと、全体を通して、行政対市民の対立軸で考えているような意見も散見される。討議会のあり方も変化しなければならない時期を迎えていると感じる。総合計画策定の中でも重要な位置づけとなるのを機にテーマの設定方法、討議の進め方、補助系の役割などを考え直す必要があると考える。